

カトリック山手教会月報

やまて



編集・発行 カトリック山手教会 広報委員会 〒231-8652 横浜市中区山手町44番地
☎ (045) 641-0735 <http://catholicyamate.org/>

第624号 2022年2月13日

ダリル・サントス・ディニョ 助任司祭 主日ミサ説教

2021年12月12日 待降節第3主日 C年
ルカ福音書 3章10-18節



ミサの前に、ある方が私に近づいて来て言いました。「神父様、あなたはピンク色が似合っていますね」私は言いました。「ありがとう！でも、ピンクが私の好きな色だとは思わないでください。これはバラ色です、ピンク色ではありません。バラ色は喜びの色です」。教会の典礼は、年に2回、つまり、四旬節第4主日の「Laetare Sunday」と、待降節第3主日の「Gaudete Sunday」に「バラ色の祭服」を使います。

今日は、その「Gaudete Sunday」です。「Gaudete」はラテン語では「喜ぶこと」という意味です。今日の朗読と祈りは、すべて「喜び」をテーマにしています。第1朗読で、預言者ゼファニアは「娘エルサレムよ、心の底から喜び躍れ」と言っています。答唱詩編では「喜びに心を弾ませ」とうたい、また、第2朗読で、パウロはフィリピの信徒への手紙において「皆さん、主において常に喜びなさい。重ねて

言います。喜びなさい。」と書いています。ところが、こんな疑問があります。「神父様、今のこんな状況で私たちは、どうしたら喜びを感じることができるのでしょうか。私たちは、互いの笑顔がマスクに隠されていて見えません。それに、病気や人間関係の問題、パンデミックなど、人生の他の多くの問題を、どのように喜んでいたらいいのでしょうか。どうすれば喜べるのか、私たちに何ができるのか、分かりません」。今日のルカ福音書は、私たちが何をすべきかについて語っています。「下着を2枚持っている者は、1枚も持たない者に分けなさい。食べ物を持っている者も同じようにしなさい。」これは何を意味するのでしょうか。誰でも喜びを味わいたいなら、分かち合わねばなりません。私たちは、必要な人を助けた時に喜びを感じるからです。今日のルカ福音書には「規定以上のものは取り立ててはいけない。」「だれからも金をゆすり取ったり、だまし取ったりしてはいけない。」と書かれています。これは何を意味するのでしょうか。それは、他の人とより良く生きるためにだけ、自分の力と権威を使うということです。では、皆さん、喜びの秘訣をお話ししましょう。どのように喜んで支えたらいいのでしょうか。

1. 喜びの秘訣は、他の人を喜ばせることです。

他の人を助けるとき、私たちは喜びを感じます。さて、ここに有名なことわざがあります。

あなたが1時間幸せでいたいのなら、昼寝をなささい。あなたが1日幸せでいたいのなら、釣りに行きなさい。あなたが1年間幸せでいたいのなら、財

産を相続しなさい。でも、あなたが一生幸せでいたいのなら、困っている人を助けなさい。

2. 喜びの秘訣は神です。

喜びは「私たちの人生」を左右するものではありませんが、喜びは「私たちの人生の中心」であり、まさに、キリストこそがその中心なのです。私たちが神様に完全に依り頼む時、皆さんは心に真の喜びを感じるでしょう。皆さん、それが喜びの秘訣です。そうです、この待降節を喜びましょう。そして、もうすぐ訪れるイエス様のご誕生を喜びましょう。

イエス様だけが私たちの心に真の喜びを与えることができますように！ アーメン。



感謝の典礼